

任意団体

ハート HART (Hari-net Acupuncture/moxibustion/massage Relief Team) 関東

設立趣旨書

「HART 関東」は、「HART」＝「はりネット鍼灸マッサージ救援チーム」の名が示す通り、災害時に、鍼灸/あん摩マッサージ指圧（以下「鍼灸マッサージ」）による支援を通して、関東における地域社会に貢献することを目的とする任意団体です。

支援対象にはあらゆる被災者、支援者を想定していますが、特に、災害時要配慮者の中でもマイノリティである小児の心身のケアは、本団体の活動の重要な柱のひとつであると考えています。

子どもたちの暮らす地域社会に希望が絶えることのないよう貢献することが本団体の使命です。

災害時の活動を効果的に行うためには、平時から支援活動を通して、地域の人々との結びつきを深めることが重要です。

また、行政および関連団体などとの連携や、活動者の資質向上を図るなど支援環境の整備を図ることも、将来の災害に備える重要な活動となります。

コロナ禍において、被災地に外部から支援者が介入することが困難になっている現在、鍼灸師/あん摩マッサージ指圧師が平時から地元において地域医療・福祉の問題などに取り組み、信頼関係を築くことの意義は、ますます重みを増しています。

「HART 関東」の設立は、「NPO 法人 鍼灸地域支援ネット（以下「はりネット」）の理念・経験に基づいています。

「はりネット」は、東日本大震災、熊本地震、西日本水害といった災害において、被災地の行政や他支援団体、地元鍼灸師等などと連携し、鍼灸マッサージ・ボランティアを通して支援活動を行ってきました。

なかでも小児鍼による小児の心身ケアに力を入れてきたことは大きな特徴です。災害によってダメージを受けるのは大人ばかりではありません。しかし幼い子どもたちの心身のケアを行うには、専門的な知識と経験が必要です。「はりネット」では小児鍼の技術と経験を持った鍼灸師が被災地の子どもたちのケアにあたり、多くの保護者の方々に安心を与えてきました。

今後起こりうる災害においてこれらの経験を活かし、地域に密着した、よりきめ細かい連携

と支援を実現するため、「HART 関東」を設立します。

その活動の主な柱は、

- 1) 鍼灸マッサージ・ボランティア活動による子育て支援・地域支援
 - 2) 地域の保健医療福祉行政、保健医療福祉団体などと連携した子育て支援に関する事業
 - 3) 1, 2 を円滑に実施するための研修・訓練
 - 4) 子育て支援や防災をテーマとする市民公開講座などの公益事業
- です。

また、本団体は日本赤十字社の日赤奉仕団の理念に賛同し、将来、奉仕団への加入を目指しています。

「はりネット」が医療系災害ボランティアのあり方について師事している団体に、日赤救護班をはじめとする災害医療チーム員が講師となって災害医療コーディネータ人材を育成している「認定 NPO 法人災害 ACT 研究所」があります。「はりネット」は、同団体が主催する研修に参加することで、災害医療についての学びを深めてきました。「HART 関東」の設立も、日本赤十字社の関係者からの提案がきっかけのひとつになっています。

「HART 関東」では、「はりネット」同様、日赤救護班のご指導を賜りながら連携を深め、災害に備えていきたいと考えています。

2021 年 4 月 25 日
任意団体 HART 関東
代表理事 浜野 浩一